

行政事業レビューシート (国土交通省)

予算事業名	国産旅客機開発に伴う安全性審査方式の導入		事業開始年度	平成21年度	作成責任者	
担当部局庁	航空局 技術部		担当課室	航空機安全課	課長 高野 滋	
会計区分	一般会計		上位政策	-		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	航空法第12条 等		関係する計 画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	・現在開発中の我が国初となる国産ジェット旅客機の安全性審査を迅速かつ適切に実施し、事故の未然防止など製造国政府としての責任を果たすとともに、審査の遅延等による国内外の航空会社への販売活動に対する悪影響を防止するとともに、外国当局との密接な連携を図り外国における安全性審査を可能な限り最小化することにより円滑な輸出を実現する。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	・平成20年3月、我が国では約半世紀ぶりとなる国産旅客機(MRJ)の事業化が決定したところであるが、その事業は、100社を超える企業が参加する等、経済的波及効果が極めて高いことから、国家プロジェクトとして経済財政改革の基本方針2007に規定され、平成26年度の運航を目指し、産官学一体となって進められているところである。 ・国土交通省としては、本プロジェクトが成功するよう、最先端技術を多数採用したMRJの安全性審査を迅速かつ適切に実施する。また、MRJを輸入する場合、輸入国の安全性審査においては、製造国(我が国)政府が実施した審査結果を確認し、必要に応じて独自の試験等を求められることとなる。我が国としては、輸入国当局との間で緊密に連携をとり、我が国の行う審査について十分な理解を得ることで、可能な限り輸入国が独自に求める試験等を最小化する。					
実施状況	・ジェット旅客機の安全性審査経験の豊富な米国航空当局から専門家から招き、講習(5日間)や随時意見交換を行うことで、審査職員の能力向上を図り、米国との良好な関係の構築に貢献するとともに、米国や欧州と密接な連携をとりつつ、MRJに取り入れられる新技術に対応する審査基準・手法を確立するための調査研究や審査に必要な環境整備を実施している。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	-	52	59	
	執行額	-	-	44		
	執行率	-	-	84.6%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	・支出先は、契約相手である米国当局やJAXA等であり、用途についても当該契約の履行に必要な経費であるため、報告書検査等により実施内容の確認を行い適切に把握している。				
	見直しの 余地	・MRJに取り入れられる新技術に対応する審査基準・手法を確立するための調査研究や審査に必要な環境整備のためのコンピュータ機器等の購入については、全て一般競争入札を実施することで、事業経費の縮減に努めているところであるが、引き続き、契約の競争性及び透明性を確保し、適正な予算執行に努めてまいりたい。				
予算 チーム 監視 の・効 率化						
補 記	【予算科目】					
	・033 公共交通等安全対策費					
	・95 公共交通等安全対策に必要な経費		(21年度予算額)		(21年度決算見込額)	
	・95016-2123-09 公共交通等安全対策調査費		49百万円		41百万円	
・95016-2123-09 土地建物借料		3百万円		3百万円		

国土交通省

44百万円

国産旅客機開発に伴う耐空証明等の新たな安全性審査手法を確立する

【一般競争入札】

A: (株)宇宙航空研究開発機構

21百万円

国産旅客機に取り入れられる新技術に対応する審査基準、手法確立するための調査、研究

【一般競争入札】

B: 民間事業者

(3社)

10百万円

航空機技術審査センターにおける審査に必要とされるコンピュータ機器購入等の環境整備

【随意契約】

C: 民間事業者

(4社)

7百万円

航空機技術審査センターにおける審査に必要とされるコンピュータ機器購入等の環境整備

D: 米国連邦航空局

3百万円

審査職員に対する研修の実施

E: 愛知県

3百万円

航空機技術審査センター施設に係る行政財産の使用許可

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出さ
 れている者について記
 載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるよ
 うに記載)

A.(独)宇宙航空研究開発機構			E. 愛知県		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外注費	試供体制作	11	土地建物借料	航空機技術審査センター室借上	3
人件費	研究者	5			
その他		2			
一般管理費		2			
物品購入費		1			
計		21	計		3
B.(株)竹宝商会					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品購入費	コンピュータ、机、椅子の購入等	5			
計		5	計		0
C.(株)メイエレクト					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
整備費	航空機技術審査センター移転に伴う 電話・LAN設備整備	2			
計		2	計		0
D.米国連邦航空局			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
受講料	米国連邦航空局(FAA)による客室 安全性に関する研修 (航空力学、脱出・退避システム、客室 安全性、緊急装備品、安全対策など)	3			
計		3	計		0

【別紙】

B.民間事業者(3社) 10百万円		
No.	支出先	金額 (百万円)
1	(株)竹宝照会	5
2	西田商事(株)	3
3	(有)サンブリッジ	2
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

C.民間事業者(4社) 7百万円		
No.	支出先	金額 (百万円)
1	(株)メイエレクトク	2
2	インフォメーション・ハンドリング・ サービス・ジャパン(株)	2
3	デジタルプロセス(株)	2
4	西田商事(株)	1
5		
6		
7		
8		
9		
10		